

## 協議事項 2

項目	各委員の実施事業に対する提案・意見等	回答	担当課
基本目標 1 自然動態（出生・死亡）の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然動態は、基本改善できるものではない。唯一改善できるのは、人口を増やすことだと考えます。明石市を参考に人口を増やすことをまず考えるべきだと考えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明石市をはじめ、近隣市町村の施策などを調査・研究していきたいと考えます。</li> </ul>	企画政策課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境としては、住みやすい落ち着いた町であるが、若者が求める就職先がないため、都市へ流出し、生産人口世代が減りつつある。赤穂の住環境が良いと思う若い世代が、職の為に市外に出ていると思われる。パソナのような企業が来れば、若い人口も増えると思う。企業誘致が望まれる。経済さえ安定すれば、子育て環境は、良い地域と感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の地元就職の選択肢を増やすためにも、新たな企業誘致と既存企業の留置（規模拡大）に努めてまいります。</li> </ul>	商工課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食費補助金を第3子以降の園児、児童及び生徒対象に交付することに反対。生活困窮家庭の園児等へは交付すべきであるが、子たくさんだからというのは、理由にならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮家庭に対しては、要保護・準要保護の認定により学校給食費等の補助を行っています。</li> <li>・対象者の拡充等については、子育て家庭の経済的負担の軽減に関する施策の展開、財政バランス等を考慮しながら検討していきたいと考えます。</li> </ul>	給食センター
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染症の拡大が収まらなければ、ロックアウト、休校等の期間が長くなる可能性がある。それに対処するとともに、IT化が日々進展していることから考えると、子どもに対し、オンライン学習を考慮したネット学習が必要。そのための予算化が不可欠である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、児童生徒に1人1台タブレットの整備、またインターネット環境のない家庭へのWifi貸与などを行っており、今後もタブレットの持ち帰りに対応できるよう努めてまいります。</li> </ul>	教育委員会 総務課

<p>・良い内容の事業が数多くあると思います。ただ、残念なことに、こういった事業があることを認知していない市民も数多くいると思いますので、どのように情報発信していくかという所に重点を置くべきだと思います。</p>	<p>・各所管において、広報あこう、ホームページなどによって情報発信に努めています。が、ご意見のように内容によっては認知されていないこともあります。今後も効果的な情報発信ができるように努めていきたいと考えます。</p>	<p>企画政策課</p>
<p>・「市民病院における産科医師の確保」をいつまで掲げ続けるのか。外部委員による経営検討委員会で市民病院の経営形態見直しも含めた審議結果によるだろうが、赤穂市内の医療機関全体で考えるべきではないか。</p>	<p>・赤穂市民病院経営検討委員会において、赤穂市内の医療水準維持を基本としながら、産婦人科も含めた診療機能の調整について議論がなされるものと承知しております。</p>	<p>市民病院</p>
<p>・赤穂市の子育て支援の取組は、他市と比較しても充実し、共働きが増えている中、子育て世代の皆さんはとても助けられていると考えます。一方で、それらの取組が子育て世代や、これから結婚する、子育てするといった世代に十分伝わっていないのではないかと思います。強力でPRいただき、しっかりと伝え、赤穂市の魅力の一つとしていただければと思います。</p>	<p>・各所管において、広報あこう、ホームページなどによって情報発信に努めています。が、ご意見のように内容によっては認知されていないこともあります。今後も効果的な情報発信ができるように努めていきたいと考えます。</p>	<p>企画政策課</p>

<p>・各施策をバラバラに発信するのではなく、一括で対象者に届くツールやアプリなどの発信を行ってほしい。</p>	<p>・市としては、市民の皆さまの利便性を高めるため、様々な媒体での情報発信が必要であると考えています。また、タイムリーな情報発信が必要であることから、必ずしも一括での情報発信が行えないケースがあります。</p> <p>・赤穂市公式LINEでは、利用者の方が得たいカテゴリの情報のみを配信する「セグメント配信」を行っています。市民の皆さんが得たい情報を、タイムリーに受け取ることができるよう、積極的な情報発信に努めてまいります。</p>	<p>秘書広報課</p>
<p>・男性の子育て参画に対する取組を盛り込んでほしい。</p>	<p>・男性の子育て参画については、第2期赤穂市子ども・子育て支援事業計画において、取組施策に「男女共同による子育ての推進」を掲げ、様々な視点から関係各課で取組を進めているところです。今後も、男女ともに子育てしやすい環境づくりを一層推進してまいりたいと考えております。</p>	<p>子育て支援課</p>
<p>・保育施設の充実と負担の軽減をお願いします。</p>	<p>・保育施設の利用希望や就学前児童の人口動向等を踏まえ、適切な施設運営を目指すとともに、保育料軽減事業を継続し、引き続き利用者の負担軽減を図ります。</p>	<p>こども育成課</p>

<p>・子供・子育て支援に関しては多くの施策を行っており、他市に遜色はないと思いますが総花的であり予算の少なすぎる事業が中途半端なように思います。また、お隣の相生市に比べPR力にかけていることが残念です。子育て支援の諸手続きについて教育委員会を含めた手続きのワンストップ化はできないものでしょうか。</p>	<p>・子育て支援施策については、対象年齢も幅広く、ニーズや課題も多岐に渡るため、総花的との印象も否めませんが、限られた予算の中で、PRも含め、できる限り効果的な事業の実施に努めていきたいと考えております。          ・また、手続きのワンストップ化については、今後、組織体制を含め検討してまいります。</p>	<p>子育て支援課          こども育成課          生涯学習課          学校教育課          人事課</p>
<p>・各種支援事業の認知度アップのためのPR活動が必要だと思います。</p>	<p>・各所管において、広報あこう、ホームページなどによって情報発信に努めていますが、ご意見のように内容によっては認知されていないこともあります。今後も効果的な情報発信ができるように努めていきたいと考えます。</p>	<p>企画政策課</p>

## 協議事項 2

項目	各委員の実施事業に対する提案・意見等	回答	担当課
基本目標 2 社会動態（転入・転出）の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の若者の価値観は「損・得」。赤穂に住めば、何か「得」するよという施策が欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援をはじめ、各所管において定住につながるような様々な取組を実施しております。各々の価値観によって、捉え方・感じ方も変わりますが、今後も、定住につながるような施策を調査・研究していきたいと考えます。</li> </ul>	企画政策課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「企業立地活動の推進および本市への本社機能の移転の促進」全く時代遅れの政策。労働集約型ではなく、テレワーク等により、インターネット環境が進んだ自然豊かな地方へ移行している企業が増える傾向。であるなら、テレワーク、ネット会議、オンライン授業等が支障なく実施できるインターネット環境を整備すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速・大容量の通信回線がどの程度必要とされているのか、ニーズや行政手法としての可能性も含めて調査研究してまいります。</li> </ul>	商工課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住の促進のために「お試し暮らし住宅の利用促進」や「定住支援策の推進」等支援がされているが、一時の取組になってしまっていないか。定住してもらうためには、職についての情報提供も共に行う必要があるだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住支援ガイドブック等には、就労についてのお問合せ先としてハローワークやシルバー人材センターを掲載、また就農支援についての情報についても掲載しておりますが、今後も各関係先と連携を図り情報提供を行っていきたく考えております。</li> </ul>	市民対話課

<p>・良い内容の事業が数多くあると思います。 私の専門分野である農業に関して少し意見をあげると、事業を実施しても今の現状では、改善されないことが多々あると感じる。 (例) 人・農地問題対策支援事業 以前から、人・農地プランの作成・見直し等、担当部署が実施しているのを知っているが、肝心の担い手が事業内容を理解しておらず、青写真のままである。 野生動物対策事業 専業・兼業問わず、農家が活用し、網等設置しているが、鳥獣害は年々増加している。等々 予算の関係もありますし、事業を継続していくことは、色々な意味でとても重要なことだと思いますが、効果を得られない事業等については、推進期間中であっても、方向転換・調整をしていただけたらと思います。</p>	<p>・人・農地プランの作成・見直し等については、プランの作成をゴールとするのではなく、必要に応じてプランの内容について地元の担い手に説明する場を設け、プランの確実な実施に努めてまいります。 ・鳥獣防護柵設置の補助金助成については、専業・兼業農家を問わず多くのニーズがあり、鳥獣被害に一定の効果があると考えます。 ・今後は、事業単位のみで効果を捉えるのではなく、他の事業と組み合わせて、最大限の効果が発揮できるよう、事業の見直しも含めて柔軟な事業実施を行ってまいります。</p>	<p>農林水産課</p>
--	---	--------------

<p>・「市営住宅空き家の活用」にある関西福祉大学生が市営住宅に入居し、地域の自治会活動や奉仕活動に参加する、の進捗状況は？現状で、学生が市営住宅に入居できるようになっているのか？学生に入居希望者がいるのか？一般の入居希望者との調整など課題は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、関西福祉大学と学生の入居方法について随時協議を行っております。次に単身の学生が市営住宅に入居することについては、公営住宅の本来の目的から外れているため、国の承認が必要となり、現時点においては未承認につき、入居できる状態ではありません。</li> <li>・さらに学生の入居希望状況については、大学周辺のアパートの状況が飽和状態ではないため、学生からの入居希望者が多いわけではありませんが、市営住宅の空き家を有効活用するため必要な施策であると考えております。</li> <li>・最後に一般の入居希望者との調整については、本来の入居希望者の入居を阻害しない範囲内での空き家活用とし、課題については既存入居者との家賃の均衡、入居マナーの啓発及び具体的な奉仕活動の検討が必要であると考えております。</li> </ul>	<p>市民課</p>
--	--	------------

<p>・「野生動物対策事業」に関し、有害鳥獣駆除の際、散弾銃の流れ弾が周世の民家駐車場の軽トラックに当たったとみられる事故（2020年4月）を受け、いったん停止されていた猟友会グループ（4人？）への猟銃使用が再び、許可され、事故の再発に不安を訴える市民がいると聞いたが、経過はどうなっているのか？周世の事故以前に同様の事故があった上郡町では事故を起こした当事者への許可がまだ出ていないと聞いたが、赤穂市が許可を出したとすれば、理由は何なのか？再発防止への安全対策はどこまで取られているのか？</p>	<p>・事故以降、すべての猟友会員に対して、銃猟での有害鳥獣捕獲許可は出しておりません。（箱わな・囲いわなにかかったシカ等への止め刺しでの猟銃使用を除く）          ・また、今後は地元からの強い要望に基づいて等、どうしても銃猟での有害鳥獣捕獲が必要になった場合のみ、日時・人数を必要最小限にする等、慎重に許可の判断をまいります。</p>	<p>農林水産課</p>
<p>・私が勤めている企業にも、毎年、新入社員が遠方より配属されますが、最近では結婚や新居の購入を機に赤穂市から姫路方面（網干やはりま勝原）へ転出する方が増えています。理由は様々ありますが、共通の理由としてはJRが不便ということがあります。今後はさらに昼間の便数も少なくなるようなことが報道されており、観光という面でも厳しくなると想定されます。利用客が少なれば致し方ない所もありますが、他の手段も含めて利便性の向上に注力をお願いします。</p>	<p>・JR西日本に対しては、関係自治体と連携して、ダイヤの維持確保や削減されたダイヤについて復元を要望しており、今後も引き続き要望活動を行い、利用者の利便性向上に努めていきたいと考えます。</p>	<p>企画政策課</p>
<p>・地域医療の充実について、市民病院の経営形態等の見通しが現在話題となっているが、医療レベルの低下に問題はないか。また、市内全体の医療レベルについて、中央病院との連携等はどうのように考えているのか。</p>	<p>・現在、外部委員で組織された赤穂市民病院経営検討委員会において、赤穂市内の医療水準維持を基本としながら、経営形態も含めた今後の市民病院の在り方について議論を行っており、中央病院との連携についても検討を行うことになっております。</p>	<p>市民病院</p>



<p>・住宅ローン新規取組する人への金利支援をしてはどうか。（実質10年ゼロ金利）</p>	<p>・2030総合計画策定に当たり実施した転入者アンケートによりますと、転入のきっかけは、仕事の都合や家庭の都合といったことが、全体の75%を占めており支援制度が定住を決める上で必ずしも決定的な要因とはなっていないことがわかり、今後は市の魅力を発信する事業展開へと進めております。なお、住宅ローンの問い合わせがあれば、独立行政法人住宅金融支援機構の地域活性型（地方移住支援）や、みなと銀行の移住ローンなどの金利引下げ支援を案内しています。</p>	<p>市民対話課</p>
<p>・JRの便数削減の見直しをお願いします。</p>	<p>・JR西日本に対しては、関係自治体と連携して、ダイヤの維持確保や削減されたダイヤについて復元を要望しており、今後も引き続き要望活動を行い、利用者の利便性向上に努めていきたいと考えます。</p>	<p>企画政策課</p>
<p>・リモートワークが一般化した今、移住定住を促進するチャンスであることを認識し首都圏等都市部に積極的にPR活動を行うべきかと思えます。移住に係る諸手続きのワンストップ化及びコンシェルジュ対応を充実すれば効果が望まれると思えます。</p>	<p>・阪神間等の出張定住相談会やオンライン相談会に参加し、引き続き赤穂市の魅力をPRしていきたいと考えております。また、移住に係る諸手続きに関しては通常の引越しと変わらないと考えており、定住相談員が窓口となり、問い合わせに応じてそのつど対応しております。</p>	<p>市民対話課</p>

<p>・企業立地等による雇用の確保について新規企業立地を模索することより既立地企業に対する助成・サポートを充実させることにより赤穂市よりの企業撤退が起こらないようにすべきかと思います。</p>	<p>・企業誘致だけでなく、企業留置にも力を注ぎ、市内企業の発展・拡大に努めてまいります。</p>	<p>商工課</p>
<p>・移住して農業に従事してくれる人へのサポートを（住宅、農地等）してはどうか。</p>	<p>・そのような方がいれば、市の定住推進担当、光都農林振興事務所や光都農業改良普及センター等と連携し、必要なサポートを行ってまいります。</p>	<p>農林水産課</p>

## 協議事項 2

項目	各委員の実施事業に対する提案・意見等	回答	担当課
基本目標3 交流・関係人口 (来訪者や地域と 多様に関わる人) の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>万人にうける施策ではなく、すき間を狙うのも方法だと考える。(ニッチ層の獲得) ICTを使った情報発信も各所管が、色々行っているので、溢れている感じがする。横の連携ができないか? 親しみやすい「親ページ」を作成して、過去のサイトをリンクさせ整理できないか?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>横の連携については、各所管で情報共有しながら、事業実施に取り組んでいきたいと考えます。</li> <li>既存のWebページへのわかりやすい入口となる「親ページ」については、取り上げる題材や、どのように利用者を誘導するかといった観点も加味し、検討したいと考えます。</li> </ul>	企画政策課 秘書広報課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>最近、坂越のまちなみを歩く人(観光客)が増えている。坂越湾周辺をもっと楽しめるようエリアになることを望みたい。(防災館周辺の使い方など) 自然破壊にならない程度の商業化地域にできることを望む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>坂越地区の空き店舗活用やイベント開催など、地元商店街とも協力して活性化に努めてまいります。</li> <li>防災交流会館周辺の広場利用については、引き続き、兵庫県、坂越地区まちづくり連絡協議会と連携して利活用を図ってまいります。</li> </ul>	商工課 観光課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去に行ってきた観光アクションプログラム、まちづくりワークショップ等の結果を踏まえながら進めていただきたい。新たな取組やボリュームのあるコンテンツがとても印象的ですが、現状の人員ではたして進めて行くことができるのでしょうか? インフラ整備をしないと取り組めないであろう事業が数多くあるので、まずは市の担当職員の増員が必要だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の増員については、直面する多様な行政課題に的確に対応するため、新たな組織や役職者ポストを新設するなど、総合的な対応ができる執行体制の整備を、適宜図っていきたいと考えています。</li> </ul>	人事課

<p>・赤穂市には他市に負けない多くのコンテンツを有していると思います。      例えば、      歴史的要素：忠臣蔵や赤穂上水、赤穂城跡      地質的要素：赤穂コールドロン      名産品：牡蠣、塩      名所：赤穂温泉、御崎・坂越地区      アウトドア：唐船キャンプ場、海浜公園、海洋科学館      自然：海、山、川      その他多くあります。      一方で、これらがそれぞれバラバラで存在している感があり、もっと連携して赤穂全体としての魅力を伝えることができないかと考えます。      観光ワンストップサービスを設け、そこに行けば上記のような名所、名物が照会されており、そこを点に、さらに各場所（店や拠点）で深く楽しんでもいただくような取組はいかがでしょうか。（ある目的で訪問したお客さんを異なる魅力に誘う取組）</p>	<p>・歴史、文化、温泉、食といった既存の地域資源を活用するとともに、観光案内所を運営する観光協会とも連携しながら、効果的な情報発信に努めてまいります。</p>	<p>観光課</p>
<p>・空き家を活用した地域活性化について、空き家の改修を前提とした取組だけでなく、借家や借家スペースとしての利用や事務所スペースとしての賃借も含め、利用の幅を広げてもよいのではないかと。</p>	<p>・空き家は古い建物が多く、ある程度改修しなければならぬ物件がほとんどです。最近では、全国的にもコワーキングスペースとしての活用が注目されていることから、空き家を借家等として活用されることも想定して、現在の事業を実施しているところで</p>	<p>都市計画課</p>
<p>・ル・ポン国際音楽祭事業の費用対効果はどうか。（マラソンの方が効果は高いと思われる）</p>	<p>・ル・ポン国際音楽祭にご来場いただいた方でアンケートにご回答いただいた方のうち、67%の方が市外から来場されております。そのようなことから、交流・関係人口の創出と拡大、地域活性化に寄与していると考えております。今後も効果的なイベントの実施による交流・関係人口の増加を図ってまいります。</p>	<p>企画政策課</p>

<p>・日本遺産推進事業について、予算7,000千円とありますが、それほど効果があるか疑問に思います。観光マーケティングなどグルメ開発のPRに力を入れた方がいいと思います。</p>	<p>・今年度の日本遺産推進事業につきましては、文化庁の補助対象事業である「人材育成事業」「普及啓発事業」「調査研究事業」「情報発信事業」を実施しており、予算7,000千円については、「情報発信事業」の中で、「日本遺産インバウンド・プロモーション事業」と「赤穂塩田資料公開システム事業」を実施しています。今後も、より日本遺産の魅力をPRし、観光客の誘致に努めたいと考えます。</p>	<p>観光課</p>
<p>・二つもある日本遺産の有効活用を推進していただきたい。</p>	<p>・二つの日本遺産については、今後もより効果的なPR方法を検討し、観光活性化に努めていきたいと考えます。</p>	<p>観光課</p>
<p>・赤穂駅のトイレ改修は観光客の視点に立った良い施策と思います。もう一歩踏み込んで老朽化してきた駅舎及びプラット赤穂のリニューアルをされてはいかがでしょうか。</p>	<p>・駅舎とプラット赤穂についても築20年以上が経過しており、今後の大規模改修についても留意しながら、維持管理に努めてまいります。</p>	<p>商工課</p>
<p>・赤穂海浜公園をもっと魅力ある施設への変更はできないか。（グランピング、大人向けバーベキューなど）</p>	<p>・兵庫県において、令和10年度までを重点期間としたリノベーション計画を策定し、その中で、赤穂海浜公園は、大型遊具の新設やグランピング等の整備など新たな魅力作りを計画しております。 ・また実施にあたり、関係自治体の意見を聞いて事業を推進するよう要望しております。</p>	<p>公園街路課</p>